



学校だより

自立真明 Part2

学校教育目標

自立心に富んだ 共に学び合う子の育成

第30号 令和元年12月12日

鯖江市神明小学校
校長 加藤 健二

メールでもご報告しましたが、6日(金)の給食に出された揚げ餃子を食べた児童が違和感を感じ吐き出したところ金属のような異物が確認されました。幸い児童に怪我はなく、他に同じような事案は発見されませんでした。即日、納入業者に連絡し調査を依頼しました。TVや新聞等で報道され、ご心配をおかけしましたことお詫び申し上げます。今後、納入業者からの報告を受けるとともに、調理室での安全管理を徹底して安心・安全な給食を提供できるように努めて参りますのでご理解とご協力をお願いします。

現在、本校ではインフルエンザに罹患する児童が増加しています。予防策として、マスクを着用して学校生活を送るようにしますので、3枚程度マスクを持たせてくださいますようお願いいたします。元気に2学期の終業式を迎えられるように手洗い・うがいなどを継続してインフルエンザ予防や体調管理に努めるようにお願いいたします。

★5年生、SASA2019(第68次福井県学力調査)・・・内容が変更され実施



10日(火)と11日(水)に5年生は、SASA2019に挑戦しました。この調査は、「県内の児童生徒の学習状況および学習と生活に関する意識や実態を把握するとともに、調査結果を分析することにより学習指導上の課題を明らかにし、学力向上に資すること」を目的に、年1回5年生と中学2年生を対象に実施されています。1日目は国語と社会、2日目は算数と理科、そして「生活や学習・学級に関する調査」に取り組みました。昨年までは「A 基礎学力問題」「B 活用力問題」「C チャレンジ問題」と分けて実施していましたが、A・B・C融合問題となりました。調査時間もA・Bで30分、Cで15分と分けていましたが、1教科45分で実施することになりました。調査終了後には、児童自らが自己評価を行い、自身のつまずきを確認できるようにしてあります。採点方法なども変更し、負担を軽減できるように工夫されました。問題用紙と解答用紙が別々になっていて戸惑いもあったようですが、緊張の中、一生懸命取り組んでいました。

★4・5・6年生、市確認テスト実施・・・国語と算数、20分間 50点満点



6日(金)には、4年生以上が市確認テストを実施しました。市確認テストも県学力調査と同様の目的で実施しています。このテストも今年からやり方を変更し、テスト時間は20分で問題数を減らし50点満点とし、テスト終了後に模範解答を配布して解説する時間を設け、課題を明確にして次の学習に活かすことができるようになりました。6年のあるクラスでは「簡単だった」という感想が多かったようです。

★ボランティアさんへ感謝の気持ちを・・・見守りボランティア、図書ボランティアの皆さんへ

11月25日(月)の神明っ子集会後に、日頃お世話になっているボランティアの方々に、「ありがとうの気持ちを伝えよう」と手紙を書きました。今月10日(火)には、見守り活動後に毎朝校門であいさつ運動にも参加して下さっているお二人に、生活委員会の子から手紙と飼育栽培委員会が世話をした鉢植えをお渡ししました。



★読書活動の推進、多読賞の発表・・・PISAの結果からも読書の大切さ指摘

15歳の生徒を対象にした経済協力開発機構（OECD）の国際的な学習到達度調査（PISA）の結果が、3日（火）に公表されました。日本は、数学的リテラシーと科学的リテラシーは世界トップクラスを維持しましたが読解力は平均得点、順位とも下がりました。質問紙による調査では、読書を肯定的にとらえる生徒や、読書の頻度が高い生徒のほうが、読解力の得点が高かったそうです。（リテラシーとは「ある特定分野の事象や情報を正しく理解・分析・整理し、それを自分の言葉で表現したり、判断したりする能力」）

このように、読解力を高めるためには読書が大切です。本校では、読書活動を推進し、めあてをもって読書に親しんでもらうために「多読賞」を設けています。1年生から6年生までの全体では、多読賞達成は1学期より8ポイント上昇しましたが41%と十分とは言えない結果です。しかし、2学期に100冊以上、高学年では1万ページ以上読んでいる子もいて、先日お昼の放送で2学期の読書ランキングの発表があり、各学年の上位3名の名前が紹介されました。

★図書ボランティア、図書館司書の日・・・図書室の環境整備や本の修理



本校では図書ボランティアと文化の館の司書の方で図書室の環境整備などを定期的に行っていただいています。10日（火）はその活動の日だったので、図書室をのぞきに行きました。いつもは5～6名の方が集まってくさるとの事でしたが、この日は司書の方とお二人でした。破損が見られる本を丁寧に修理して下さっていたので、お礼の言葉を伝えました。

★吹奏楽部保護者会、見送りボランティア活動開始・・・感謝！！



国や県では「学校における働き方改革」により、教員が心身の健康を損なうことのないよう業務の質的転換を図り、限られた時間の中で児童生徒に接する時間を十分に確保し、児童生徒

に真に必要な総合的な指導を継続的に行うことのできる状況を作り出すことを目指して、取組を進めています。中学校の部活動においても負担軽減を図るために見直しを進めています。中学校の部活動とは性格が異なりますが、本校では吹奏楽部の活動をしています。これまで、吹奏楽部の担当教員で見送りをしていましたが、12月から保護者の皆様に見送り活動に協力いただけることになりました。負担軽減の一助になり感謝申し上げます。

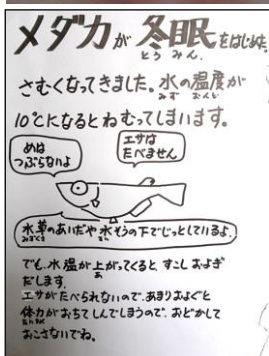
★メダカの冬眠とサケの卵のふ化・・・ふ化の瞬間を楽しみに！



メダカの水槽の掃除



サケの卵



休み時間になるとメダカの水槽の前に人だかりができるほど人気のメダカですが、水槽の中で冬眠に入るそうです。先日は、冬眠に備えて水槽の掃除をしていました。きれいな水になり、メダカたちはゆっくり冬眠できそうです。

また、エコネットさばえからはサケの卵が、2個ずつペットボトルに入れられてやってきました。サケの卵は受精してから1日の平均気温×日数の積算水温が約480℃になるとふ化が始まるそうです。今はまだ、オレンジの卵の中に黒い点の一つあるだけですが、どんどん変化していくと思います。毎日楽しみに観察していき、ふ化の瞬間が見られることを期待しながら稚魚の誕生を待っています。